

氏名	丸山優	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	老年看護学				
学位	博士（看護学）				
学歴	1999年千葉大学看護学部卒業、2004年千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程修了、2017年順天堂大学医療看護学研究科博士後期課程修了				
経歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2012年同講師、2018年同准教授				
所属学会（役職）	日本老年看護学会（理事）、日本認知症ケア学会（代議員）、日本看護科学学会、日本看護教育学会、千葉看護学会、プライマリケア学会、日本保健医療福祉連携教育学会、SPU学会				

【2023年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	連携した認知症ケアの推進者を育成する研修プログラムの評価	共著	あり	日本認知症ケア学会誌、 22(4)、686-695	丸山優、畔上光代、國澤尚子、中込沙織、大塚真理子	2024.1
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	連携した認知症ケアの実装を目指したリーダー研修の評価-研修1年後の調査から-	共同	第28回日本老年看護学会学術集会（横浜）	○丸山優、畔上光代、國澤尚子、中込沙織、大塚真理子	2023.6	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	交流集会：今どきの老年看護、何をどのように教えていますか？	共著	第28回日本老年看護学会学術集会（横浜）	丸山優、三重野英子、小野光美、鳥田美紀代	2023.6	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢入院患者のmobilityを促進する急性治療期の看護実践プロトコルの開発	研究代表者	2021.4～2025.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	高齢者の外反母趾・浮き趾による転倒予防に対する看護介入の効果	研究分担者	2021.4～2025.3		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	老年看護学IV		8	3年次生を対象に、医療機関と地域が継続して高齢者を支援することを学べるようにグループワークを支援した。		
2	ヒューマンケア論		2	1年次生を対象に、看護におけるケアについて講義を行った。看護学科以外の学生が関心をもち、看護のイメージを広げられるように、わかりやすい事例を取り上げた。		
3	病態生理学（大学院）		15	エビデンスに基づき対象の病態生理学的変化を解釈し、臨床看護判断を行うために必要な知識と技術について学習する科目において、受講者が自らの実践を振り返り、理解を深められるよう支援した。		
4	保健医療福祉研究方法特論（大学院）		2	質的研究の特徴を理解し、論文を精読し活用できることを目指して講義を行った。質的研究に触れたことがない学生にとっても興味を持ってもらえるよう日常の事象や最近のトピックを取り上げた。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学Ⅱ		15	3年次生を対象に、認知症をもつ高齢者への日常生活援助方法の学習を目的として、講義、演習を行った。今年度は、動画教材を活用して、学生が主体的に取り組めるよう工夫した。

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	老年看護学実習Ⅰ	○	2023.4～6	2年次生を対象に老人福祉センターでの実習を担当した。感染対策をとりながら、臨地での実習を行えるように工夫した。高齢者へのインタビューとインターネットを活用した地域に関する情報収集を実施した。
2	老年看護学実習Ⅱ		2023.10～12	3年次生を対象に埼玉協同病院での実習指導を担当した。回復期リハビリテーション病棟における実習で、学生が高齢者の回復を支援する関わりを主体的に実践できるように指導した。
3	総合実習 (老年看護学領域)		2023.7	4年次生を対象に指扇療養病院での実習を担当した。学生の学習課題を踏まえて、臨地実習において入院中の高齢者や専門職との関わりから学びを深められるように指導した。
4	IPW実習		2023.8～10	春日部市立医療センターでの実習を担当した。他領域の学生がチームを形成し患者の課題を検討するプロセスを通じて、チームメンバーの相互理解や合意形成を学べるように支援した。

(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2023.2～2024.1	主指導	3名 副指導 0名

(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	沖縄県看護協会感染管理認定看護師課程「チーム医療論」講義	2023.7	認定看護師課程で学ぶ受講生を対象に、講義を行った。チーム形成し、チーム活動を振り返る体験を通して学べるように工夫した。	
2	埼玉協同病院「認知症看護」講師	2023.10	中堅看護職員対象とした認知症看護講座を実施した。講義と演習を組み合わせ、実践に生かせるように工夫した。	
3	埼玉協同病院教育研修センター「IPW研修」講師	2023.10～2024.2	中堅多職種職員を対象としたIPW研修を病院の担当者とともに企画し、実施した。	
4	専門職連携を学ぶ講座「多職種チームによる実地実習 (IPW実習)」	2023.10～11	IPWに関心をもつ医療機関や福祉施設の職員を対象とした実習を運営した。実習に向けてチーム形成とリフレクションについて講義を行った。	

#### 4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	看護研究指導講師	越谷誠和病院	看護研究指導	2023.4～2024.3
2	看護研究講評	越谷誠和病院	看護研究発表に対する講評	2024.2
3	看護研究講評	埼玉県看護協会南部支部	看護研究発表に対する講評	2024.2
4	埼玉未来大学 (東部、西部、南部) 講義	埼玉未来大学	認知機能と生活習慣病	2023.8～12
5	まちなかキャンパス講義	埼玉県立大学	認知症を予防して生きいき長生き	2023.9
6	高校出張講座	埼玉県立大学	越谷西高校における高校生を対象とした講義	2023.6

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等			
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	さいたま市社会福祉事業団	評議員	2023.6～2024.6
2	日本看護協会	最新看護索引編集委員	2023.6～2024.6
3	日本老年看護学会	理事、総務、編集委員会委員	2022.6～2024.6
4	日本老年看護学会	第28回学術集会企画委員	2022.1～2023.6
5	日本認知症ケア学会	代議員・学術誌査読委員	2022.5～2026.5
6	千葉看護学会	査読委員	2022.4～2024.3
7	日本保健医療福祉連携教育学会	査読委員	2023.2～2025.3

8	日本看護科学学会	看護ケアのための便秘時の大腸便貯留アセスメントに関する診療ガイドライン外部評価委員	2023.3～2023.8
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし	日本認知症ケア学会	第24回日本認知症ケア学会大会（京都）口演発表座長
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	大学院教務委員会委員	2023.4～2024.3
2	学科等における委員会等	JABNEプロジェクト	2023.4～2024.3
3	学生支援	学部2年生担任	2023.4～2024.3
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		